

災害時の安否情報がやりとりできるサービス

171

災害用伝言ダイヤル

自宅や外出先から、電話で「171」をダイヤル

災害用伝言ダイヤル「171」は、災害発生時に家族、知人などの安否を確認する“声の伝言板”です。災害時は全国から被災地への電話がつながりにくくなります。もしもの時に備え、ご利用方法をご確認ください。

◎伝言の録音方法

1 7 1 をダイヤルする

↓ ガイダンスが流れます

録音の場合 1 をダイヤルする

↓ ガイダンスが流れます

連絡を取りたい被災地の方の
電話番号をダイヤルする

□-□-□

↓ ガイダンスが流れます

伝言の録音をする（30秒以内）

◎伝言の再生方法

1 7 1 をダイヤルする

↓ ガイダンスが流れます

再生の場合 2 をダイヤルする

↓ ガイダンスが流れます

連絡を取りたい被災地の方の
電話番号をダイヤルする

□-□-□

↓ ガイダンスが流れます

伝言の録音内容を確認する

171で伝えること

①名前（フルネーム）②居場所 ③誰と一緒に ④安否 ⑤次の伝言時間

災害時以外にも、災害用伝言サービスの**体験利用**ができます。

毎月1日及び15日・正月三が日・防災週間（8/30～9/5）・

防災とボランティア週間（1/15～1/21）

年末年始でご家族、ご親戚が集まる機会に体験や利用方法
の確認を行いましょう。

広報ゆすはら12月号P.15に関連記事を掲載しています。

※インターネット版「web171」もあります。【梶原町役場 総務課危機管理係】

2025 令和7年 地域体育はじめ

1年の健康と幸せを願って 爽やかな汗を流しましょう！

期日：令和7年1月3日（金）

時間：《受付》 8：30～8：50

《スタート》 9：00 《終了》 10：00頃

集合場所：越知面会場 越知面交流センター

四万川会場 四万川交流センター

梶原初瀬会場 梶原町総合庁舎前

西区会場 旧西川小学校体育館

松原会場 松原ふれあいセンター

コース等：集合場所を起点とする1～3km程度
体調に合わせて歩くか走ります。

その他：年男年女賞をご用意します。

今回は巳年の方が該当になります。

中止の場合は7：30頃に行政放送にてお知らせします。

問合せ先：生涯学習課 生涯学習係 電話：65-1350

ご家族やお友達をお誘い合わせのうえ、お越しください♪



RemORI MONTHLY /

2024年12月号
vol.24
IN ゆすはら

林業情報を発信！
りもりマンスリー

勉強会 & 忘年会開催

笹岡 高志 | p.02

森林づくりカンファレンス 森林づくり体験ツアー

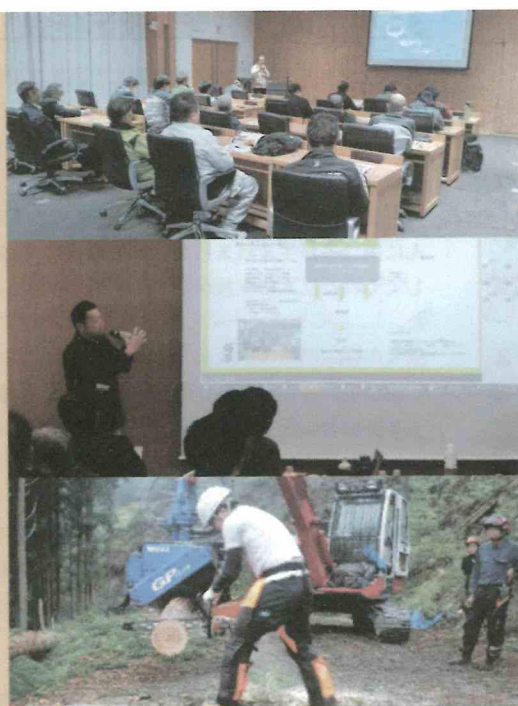
長谷川 夏輝 | p.03

辻本 修丞 | p.04

P.02

P.03

P.04



梶原町森林再生プロジェクト 「りもりチャンネル」

りもりの活動やイベント風景、協力隊のPR動画などを配信中！



KlRecub-きりかぶ-チャンネル

新たに立ち上げました！活動風景やイベントの様子などを配信予定！



03 Instagram

ゆすはら地域おこし協力隊

りもりメンバーが林業を通して梶原町の魅力を発信中！



山口佑貴



長谷川夏輝



荒木俊充



吉井香在



Coming Soon



Coming Soon

株式会社KlRecub-きりかぶ-

下村 智也を代表取締役として、令和6年8月より造林・育林事業を基軸にした会社として設立。メンバーの大半は移住してから林業を始め、前職も全く畑違い。林業の魅力をもっと知ってもらう為に事業を運営しています。



WOODNEIGHBORS-ウッドネイバーズ-

協力隊を卒業した角金玄が個人事業主として開業。ロープクライミングで樹上へアクセスし住宅や公共施設、神社仏閣などの樹木の伐採(剪定)を事業としています。



ゆすはら森のおさんぽ会

梶原の豊かな自然を活かした、自主保育型「森のようちえん」活動。協力隊の荒木俊充が妻とともに、5歳と2歳の子どもたちを連れ、町内各地で活動中。参加者随時募集中！0歳からどなたでも参加していただけます。一緒に自然を満喫しませんか？



kijishi.labo

協力隊の吉井香在が林地残材で木工作品を製作。放置されている材に新たな命を吹き込み、作品を通じて自然の美しさを表現します。一部作品はキャンプ場ショップINTO THE FORESTでも販売中。



編集・発行：梶原令和の森林づくり協議会 ReMORI-りもり- 荒木・笹岡
お問い合わせ：森林づくり脱炭素推進課 お電話：0889-65-0811
お気づきの点、ご意見・ご要望がございましたら上記までご連絡ください。

りもりマンスリーの
これまでの記事はこちら



初の勉強会 & 前進を確かめ合う忘年会を開催！



勉強会の様子

総勢20名参加の勉強会！

私も協議会の役割は梶原に来てくれた地域おこし協力隊員をしつかり育てることです。加えて、会員（林業事業者）のレベルアップにあります。かねてから（私が）願っていた勉強会を開くことができました。講師の人選を月イチで協力隊の指導に当たる県森連アドバイザーで、（株）みどりの恵・森本正延代表にお願いしました。

推薦して下さった講師は機械のエキスパートでした。松山市の四国建販（株）本部長付の日野敏明さんは、技術教育シニアマネージャーの資格をお持ちでした。事前に「梶原町は再来年春に木質バイオマス発電を稼働させる。その材料確保に『増産』が必至課題」とお伝えしました。

12月3日午後、役場議場をお借りした勉強会には約20人の会員が参加し、日野講師はこう切り出しました。「木材価格が思わしくない反面、資材費と燃料費が高騰している。いま大事なことは経費削減、それに直結する機械の扱い方とメンテナンスをお話する」。実践的な講座となりました。日野氏は具体例として「エンジンオイルの点検は毎日していますか？故障を防ぐために是非！」「エンジンのパワーを全開とせず、数段落として使おう。乗用車のふわっとアクセルと同じ。確実にガソリン量は減る」。基本的ですが、忘れがちな指摘でした。更に「最近の機械（チェーンソー等）にはコンピューターが内蔵されている。止まれば、メーカーを呼ぶしかない。これまでの経験からアソコやろう！と部品をつつくと、そっくり交換しなければならなくなる」と注意を促しました。副会長の川上周一さんにマイクが渡ると、「いやあ、そこまでは出来ていません。ご指摘ありがとうございます」と頭に手をやることしきりでした。

また、森本講師から「（株）KlRecubが県に『認定事業体』の申請をしています。年明けには認められそうです」との嬉しい報告がありました。認定事業体は国や県の助成事業を受ける必須条件です。町内に数が少ない。万一の事故に備えて、『事業計画』策定も不可欠です。森本さんに相談ください（070-3224-6081）、対応して下さいます。休憩を挟んで約2時間半、「今一度基本に戻る」講座を終えました。

3つの喜びを共有した忘年会！

来賓の吉田町長の乾杯で開宴した忘年会で、嬉しい報告ができました。

協力隊第一号で特殊伐採に励む角金玄さんに先月、第一子が誕生。今月には、夏に（株）KlRecubを設立し、代表取締役役に就いた下村智也さんに第二子が生まれました。3年間の協力隊を卒業して、町内に定住してくれた二人に家族が増えた。拍手が沸き、大いに座が和みました。

続いて、長谷川夏輝さんがA4用紙を織り込んだ木製品のパンフレットに参加者に配りました。前職が広告代理店だけにレイアウトがいい。また当初の名刺入れやネームホルダーに加えて、動物が淡く彫り込まれた定規やコースター等、商品構成が多彩になりました。受注も思いのほか順調で、作業に追われています。卒業まであと半年となった長谷川さんは「（株）KlRecubで造林をベースに、林業×〇〇、僕の場合は木工を頑張ります」と近況を報告しました。再度、大きな拍手が広がりました。

同夜の忘年会には飛び入りがありました。秋の林業体験ツアーに参加してくれたAさん（県外）です。「もう一度梶原を覗いて、町内でアルバイトをしながら一週間滞在します。お世話になります」と自己紹介しました。コロナ禍が落ち着いたためか、移住者の流れに変化が起きているようです。残念ながらこの1年、新たな隊員を迎えることが出来ませんでした。Aさんを宴席に連れて来たのは、ツアーで彼を世話した吉井香在さんでした。結構、繋がっているようです。来春にはAさんを含め、複数の隊員を迎えたい。私の願いです。

今回のREPORTER-リポーター-



梶原令和の森林づくり協議会「ReMORI」会長 笹岡 高志・Takashi Sasaoka-

高知市生まれの74歳。高知放送を退職後、週2回のペースで、梶原町を往復。8年が経過。梶原町産業担い手育成塾長（森林づくり）を経て、梶原令和の森林づくり協議会長。子ども3人、孫6人。拙宅は時々、孫たちで大賑わい。本日は静かです。

梶原森林づくりカンファレンスに参加

ゆすはら地域おこし協力隊の長谷川です。今年で3度目の開催となる「梶原森林づくりカンファレンス」に参加してまいりましたのでレポートいたします。

カンファレンスは昨年にも増して多くの参加者を迎え、長瀬産業様の東京本社にて開催されました。梶原町の協定企業が一堂に会し、持続可能な取り組みや地域発展に向けた意見交換を行う機会となりました。

各企業からは自社の環境関連プロジェクトや地域貢献活動、梶原町における取り組みについて発表いただきましたので、いくつか抜粋してご紹介いたします。

- ・長瀬産業(株)：梶原町におけるアロマオイルの開発状況や、(株)バイオームとの協働事業。
- ・アジア航測(株)：今年度で一区切りとなった梶原町へ社員を派遣してのコンサル事業や、その知見を活かした新たな取り組み。
- ・日本道路(株)：コンクリートレンガに変わる木製チップで成形した「木煉」の紹介や、協定企業間の連携。
- ・青山商事(株)：不要なスーツ回収による植樹支援などのサステナビリティ活動や、梶原町で行った学生インターンシップ。
- ・HARD WOOD(株)：特殊伐採の重要性や、梶原町太郎川公園のショップ「INTO THE FOREST」。
- ・矢崎総業(株)：梶原町における林業事業の展開や、林業従事者向けの専用車両「YAZAKI Forestry Vehicle」。

また、ゆすはら地域おこし協力隊としては、現役メンバーの活動内容や、協定企業様との連携内容などを紹介。最後には梶原町で活動する(株)KIRecubから事業内容や、梶原町協定企業との連携について紹介がありました。



ゆすはら地域おこし協力隊の活動報告



参加者集合写真

まだまだ多くの企業様から発表をいただきましたが、今回は誌面の都合上、残りの企業様については企業名のための紹介とさせていただきます。

- ・(株)バイオーム
- ・(一社)more trees
- ・三井住友カード(株)
- ・東京建物(株)
- ・(株)ホットスタッフ・プロモーション
- ・大日本ダイヤコンサルタント(株)

今回のカンファレンスを通じて、協定企業同士が連携して具体的な活動を進めるための基盤が得られたように感じます。ある企業のご担当社様からの言葉で印象的だったのが、「普段関わることのない業種の方と交流ができ、新しい発想が得られる貴重な機会になりました」というもの。それぞれの強みを活かして協働することの重要性を改めて認識しました。

今回のことを受けて、梶原町を中心に新たなプロジェクトが進んでいくかと思います。この報告を経て多くの方に関心を寄せていただければ幸いです。

今回のREPORTER-リポーター-



ゆすはら地域おこし協力隊 / 株式会社KIRecub
長谷川 夏輝 -Natsuki Hasegawa-

神奈川県出身の地域おこし協力隊。
今年で3年目に突入。林業研修の他に、森林イベントの運営や木工などにも力を入れ始めました。
協力隊を中心に立ち上げた(株)KIRecub-きりかぶ-では、休みの日を活用して造林の仕事を請け負っています！

森林づくり体験ツアーを開催！

～森林づくりの担い手確保に向けて～

今年も森林づくり体験ツアーを10月18日(金)から20日(日)の日程で開催しました。このツアーは梶原町の森林づくりの担い手確保を目的としており、今回は5名の方々にご参加いただきました。

この3日間で参加者の皆様には、製材所・ペレット工場の見学、苗木園視察や植樹体験、伐倒現場見学、チェンソー体験、再造林の現場見学、空き家住宅の見学など、もりだくさんの内容で梶原町の森林づくりの現場を体験していただきました。

植樹体験は永野で実施しました。クワを使って穴を掘るだけでも、傾斜地での作業となると大変で、参加者の皆様も一生懸命に作業に取り組んでいただきました。今回体験用に用意した苗木は(株)KIRecubの苗木園で育てたコナラで、手分けして10本程植樹していただきました。梶原町でとれたドングリで苗木を生産し、また環境に配慮した生分解性のポットを使用していることに参加者の皆様も感心しておられた様子でした。

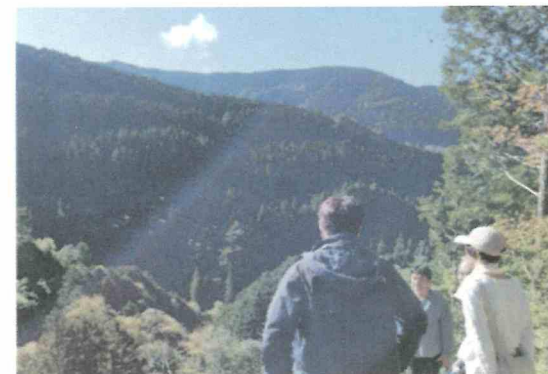
伐倒現場見学ではReMORI会員の川上政志さんの現場へお邪魔し、木を切り倒して集材するまでの様子を見学いただくとともに、チェンソーでの玉切り体験をしていただきました。急峻な地形の多い梶原ならではの迫力ある架線集材の様子も非常に興味を持ってご覧いただきました。



植樹体験の様子



チェンソー体験の様子



再造林地の見学



ペレット工場の見学

夜の懇親会では、政志さんを始め、高橋元気さんや下村智也さんなど若手の林業従事者の方にご参加いただき、梶原の林業や暮らしについてお話をいただきました。また、参加者の中には既に林業をされている方もおり、他の地域の取り組みのお話など多くの情報交換が出来ました。

今回参加いただいた皆様は、熱心にツアーのプログラムに取り組んでいただき、林業への興味を更に深めていただくことができた様子でした。

今後もこうした活動を継続していき、梶原町の森林づくりの担い手確保を進めて参ります。ツアーにご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

今回のREPORTER-リポーター-



梶原町役場 森林づくり脱炭素推進課
辻本 修丞 -Shusuke Tsujimoto-

役場入庁6年目。普段の業務は町有林の施業発注や、協働の森づくり事業などを担当しています。
梶原町の森林づくりの魅力について、町内外の皆様へお伝え出来るように頑張ります！



梶原町学校応援団だより No.3

令和6年12月10日 発行

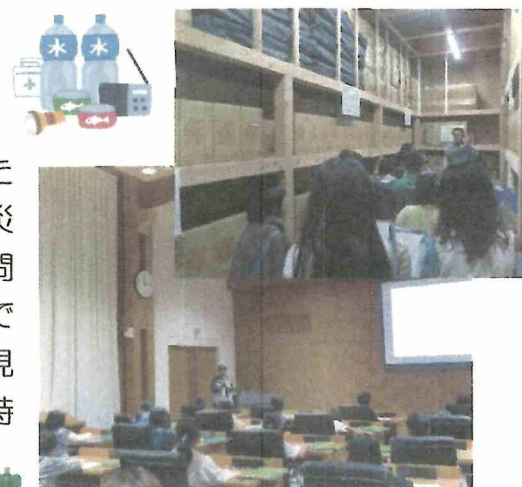
梶原町学校応援団 65-0120

梶原町学校応援団の活動をお知らせします。
学校応援団の活動にご協力いただきありがとうございます。

学校支援部会

11月1日(金)

4年生が「防災学習」で役場総務課危機管理係にご協力いただきました。災害に対する梶原町としての取り組みや自主防災組織のお話をしていただきました。その中で子どもたちが疑問に思ったことを積極的に質問し、災害時や備えなど自分たちでできることを学びました。東区の備蓄倉庫、防災拠点施設も見学させていただき、実際に組み立てたパーテーション、災害時のトイレ、簡易ベッドも体験しました。



11月8日(金)

3年生が社会科の授業で丸味ストアを見学しました。お店の中を案内していただき、普段は見ることのできないお店の裏側も見せていただきました。大きな冷凍庫や冷蔵庫、お魚用の大きな包丁、お寿司を作る機械など初めて見る物がたくさんありました。最後には、自分たちで考えた質問をし普段利用するお店の工夫を学ぶことができました。



11月20日(水)

梶原学園の持久走大会では、民生委員・児童委員協議会の皆さんにご協力いただき、交通整理をしていただきました。天気にも恵まれ、沿道ではたくさんの地域の方に応援していただきました。「頑張れ〜!」の声に励まされみんな最後まで走りきることができました。

11月29日(金)

4年生が「きれいな梶原川を守ろう」ということでポスター、チラシ、看板、ゴミ拾いの4つのグループに分かれて、誰に何を伝えたら川のきれいさを保てるのかを(公財)四万十川財団、役場環境整備課の方にご協力いただき自分たちで考えました。

どの方法で伝えるのが良いのか、伝え方のアドバイスもいただき貴重な時間を過ごすことができました。



地域活動部会

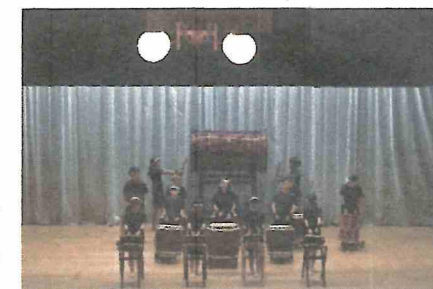
和太鼓クラブ

10月20日(日)に梶原町芸術祭の町民ステージ、11月16日(土)に図書館秋祭りで演奏させていただきました。日頃の練習にも熱心に取り組み、地域の方の前で発表できることをとても楽しみにしていました。1年生や新しく入った子どもも上級生に教わりながらかなり上達しました。



今年の最上級生は5年生で、自分たちで曲も作りました。曲を作り上げるのに十分な時間があったとは言えませんが、図書館秋祭りでは堂々と披露することができました。

今年は発表の場が増え、たくさんの地域の方に練習の成果を見てもらうことができました。



○毎朝、地域のボランティアの方に学問坂の交差点で交通安全指導をしていただいています。子ども達が安全に登校できるように、挨拶を含め声がけをしていただいています。



○毎週木曜日の朝の時間には絵本の小部屋の皆さんに読み聞かせをしていただいています。2学期からは、1、2年生の読み聞かせには9年生が入っています。

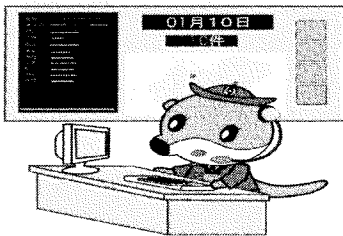


放課後子ども教室部会

11月15日(金)、毎月行っているサポーター会で梶原学園の1年生がメロディオンの演奏と歌を披露してくれました。演奏の後はサポーターさんとの交流として肩もみをしてくれたり「いつもありがとう!」「これからも一緒に遊んでね!」という言葉をかけてくれました。折り紙のプレゼントや手紙を書いている子どももいて、楽しい交流になりました!



110番通報の適切な利用を



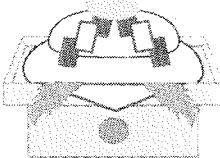
一月一日(金曜日)は、「110番の日」です。

110番は、事件や事故が発生した際に、県民の皆さんと警察を結ぶホットラインであり、安全で安心な日常生活に欠かすことのできないものです。

110番通報に対応するため、警察本部通信指令課では、110番通報を受理する一方で、通信指令システムや無線で、パトカーや交番所員を現場へ急行させるよう指令しています。

110番をかけるときは、まず落ち着いて「何があったのか?」「どこであったのか?」「いつあったのか?」「犯人は?」「今どうなっているのか?」「あなたの住所・名前は何?」など、警察官の質問に冷静にお答えください。

携帯電話から110番されるときには、運転中は必ず車両を停止し、歩行中であれば立ち止まって通報してください。なお、「いたずら電話」は、重要な緊急電話の障害となりますので、絶対に止めてください。



ゆすばら

須崎警察署
梶原駐在所
高橋 宜裕
☎0889-65-0110

今年はなくそう詐欺被害!

昨年も各地で詐欺被害が発生しています。昨年多く見られた手口に

- 都合の良い投資話で、手数料や代金を請求される手口
- 警察を名乗って、捜査協力名目や逮捕を免れるための示談金名目でお金を振り込ませる手口
- 携帯電話の未払い、有料サイトの利用料、システムエラー解除料名目で必要ないお金の支払いを求める手口等があります。

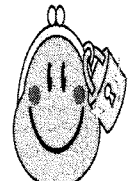
まず詐欺を見破るポイントとして

- 役場等から大事な用件が電話やSNSなどで来ることはない
- ATMを使わせたり、電子マネーを買わせる行為は詐欺
- 警察や公的機関が電話やSNSでお金を支払わせることはない

ということが挙げられます。電話などでいきなりお金の話が出たら、詐欺です。

電話であればいったん切り、自分だけで判断することなく、必ず「家族・友人・役場や警察など」に相談するようにしましょう。

振り込まない!!
渡さない、送らない!!



◎新年明けましておめでとうございます

昨年は当駐在所の各種活動へのご協力、大変ありがとうございました。

当駐在所管内では、高齢者等を対象とする悪質商法・詐欺の被害、鍵をかけていない家屋・駐車車両に対する盗難被害、高齢者・児童の関係する交通事故の発生などが懸念されるところです。

お家や止めている車両には必ずカギをかける、留守の際に多額の金品を放置しないなどの防犯対策をお願いします。

外出する際は、車両の運転時はもちろん、歩いている時も十分に周りの安全を確認し、交通事故を起こさない、事故に巻き込まれないようにしましょう。

昨年同様、本年もよろしく願います。



火の用心

火災は人の命に関わるだけでなく、大切な財産、思いつく品までもすべてを無くしてしまいます。

- ストーブ等火の元の近くで衣類等を乾かさない。
- コンセントの近くの掃除をしてほこりを溜めないようにする。
- (漏電による火災予防)使用した火気の消火を必ず確認する。

などに十分気を付けて、火事を起こさないようにしましょう。

